

平成28年度市町村教育委員会アクションプラン・計画等概要

(別府教育事務所)

No. 1

市町村名	プラン・計画等	目標	行動計画	H28達成指標
	学力向上アクションプラン	<p>1. 大分県学力定着状況調査において、正答率60%未満の児童・生徒の割合を減少させる。</p> <p>2. 全国調査において「B活用」の平均正答率が、全小中学校の全教科で全国平均をこえる。</p> <p>3. 「活学力の向上を図る」ことを目的とした授業を各単元で実施する。</p>	<p>① 授業改善に関する行動計画</p> <p>ア 学校全体で取り組む授業改善に向けて(管理職による授業改善の推進は必須、小学校における教科担任制の推進を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の授業録録写アップシートを参考にして各校ごとにシートを作成し、管理職の授業観察や互見授業で活用する。観察後は、校長または教頭で必ず シートを基にした指導を実施する。 活学力を向上させるための校内研究を全校で実施する。(ペア・グループ活動の充実等) 習熟の程度に応じた指導の充実に向けて(補充指導の充実を含む) 習熟度別指導を、小学校では6、6年生の算数、中学校では、学校の実態に合わせて数学、英語で実施する。 補充指導については、小学校では放課後の時間を計画的に設定し、中学校では放課後職員室前の机や少人数教室等を利用した取組を実施する。また、夏季休業中もステップアップ講座(小)や学習相談(中)を充実させていく。 <p>ウ 司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館活用を位置づけた年間指導計画について、その進捗状況を司書教諭が確認し、司書教諭部会で情報交換する。また、部会に指導主事が参加し、指導にあたる。 職員に対し、図書館活用の啓発や図書館使用の調整を学校司書とともに実施する。 <p>エ 市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 部会内での授業研究を実施し、授業改善へ向けた取組を推進する。 ② 中学校国語、数学部会においては、全国調査B問題について、部会での分析、授業での活用を行い、実践結果を交流する。 <p>② 学びに向かう学校づくりに関する行動計画(幼児小の連携・小中連携を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生徒指導の3機能を生かした学級集団づくり(特別活動)の推進 ② 児童・生徒が主体的に学ぶ授業改善と学習環境の整備(中核校日出中の取組を参考に) ③ 小中学校間の積極的な交流(体験授業、行事参加等) ④ 日出町幼児小連携協議会の年間2回実施(授業参観、情報交換、研修 等) <p>③ 保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画</p> <p>ア 放課後や土曜日の教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学習ボランティアの活用(小学校) ・月1回の放課後補充学習・授業中のサポート・夏季休業中のステップアップ講座 ② 教育委員会主催による「土曜子ども教室」の開催 ・全小中学校の高学年対象(平成27年度30名) ・地域のボランティアの活用による文化教室や算数教室の開催 <p>④ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 二期制のメリットを生かした取組を推進する。 	<p>○大分県学力定着状況調査において、正答率60%未満の児童・生徒の割合を25%以下にする。</p> <p>○全国調査において「B活用」の平均正答率が、全小中学校の全教科で全国平均をこえる。</p> <p>○町内すべての小中学校が、「授業改善の5点セット」の検証指標を達成する。</p>
日出町	体力向上アクションプラン	<p>○児童・生徒の体力向上に係る目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低体力層(D/E層)の児童生徒を減少させる。 ・1日の運動・スポーツ実施時間30分未満の児童生徒を減少させる。 ・朝食を毎日食べるようにしている児童生徒の割合を向上させる。 <p>○体力向上に関して組織的な課題を解決するための目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上推進委員会の充実を図る。 ・体力向上プランの見直し、修正をおこなう。 ・小学校体育専科教員の活用の充実を図る。 	<p>○体力向上推進委員会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間2回開催し、小中学校でそれぞれ授業参観を実施する。(6月、3月) ・体育保健課指導主事を招聘し、指導を受ける。 ・1回目は、各校の体力向上プランについて情報交換する。 ・2回目は、体力テストの分析をおこない、次年度に生かす。 ・栄養教諭との連携を図る。 <p>○体育専科教員の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校(5校)を、毎週訪問する。 ・各学級担任とTT指導を実施する。(なるべくT2) ・保護者へ体力向上に向けた広報活動を行う。(全小学校配布) ・体力テストの実施について、指導・支援にあたる。 ・他地域の体育専科教員の好事例を必要に応じて取り入れる。 <p>○中学校の組織的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育部会で、互見授業や研修をおこないスキルアップに努める。 ・全教職員共通理解のもと、学校行事を活用して、計画的に体力向上に努める。(クラスマッチ、体育大会等) ・サーキットコースを、保健の授業以外でも積極的に活用する。 <p>○教育委員会の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境の整備に努める。(体育用具、Wi-Fi環境 等) ・管理職のもとで、体力向上推進委員会を中心とした学校全体での「一校一実践」の確認をし、必要に応じて、指導・支援を実施する。 ・食育担当者を実施し、栄養教諭と各校の担当者との連携を図る。 <p>○「学びに向かう学校」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 日出中学校で取組を進めている「学びに向かう学校」の取組を参考にし、他の小中学校の実態に合わせた取組を推進する。 * 日出中学校では「学びに向かう学校」の指定を受け、学力向上・体力向上・特別活動等において、生徒指導の3機能を生かした取組を推進している。 	<p>○体力テストにおいて、県平均以上の項目の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校、中学校ともに80% ○低体力層(D/E層)の割合の減少 小学校男女とも10% 中学校男女とも10% ○1日の運動・スポーツの実施時間30分未満の割合 小学校男子10% 女子20% 中学校男子3% 女子15% ○朝食を毎日食べる児童生徒の割合の維持・向上 小学生、中学生ともに90%以上(100%を目指す) ○運動への愛好度の向上(好き・やや好き) 小学校 男女とも90%以上 中学校 男女とも80%以上
	不登校対策アクションプラン	<p>(不登校生徒数・出現率)</p> <p>○全中学校</p> <p>在籍者数 841名</p> <p>不登校者数 10名</p> <p>出現率 1.19%</p> <p>○全小学校</p> <p>在籍者数 1664名</p> <p>不登校者数 5名</p> <p>出現率 0.30%</p>	<p>○取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <計画・組織> ○「不登校対策への組織的な取組」・日出町不登校対策委員会の開催・活性化 ・「不登校対策計画」の策定 ・各校の不登校対策委員会の活性化指導 <未然防止> ○100パーセント運動のさらなる推進(基本的な生活習慣) ○生徒指導の3つの機能を生かした分かる授業の推進 ○コミュニティスクールの取組による三者が一体となった支援 ○郵便による相談活動の実施(町いじめ問題対策連絡協議会) <初期対応> ○スクールカウンセラーを核とした校内支援体制の充実 ○関係福祉機関との連携・強化 ○フレンドリー広場の充実(教育支援センターの新規設置) <p>○地域不登校防止推進教員の活用計画</p> <p>(拠点校) 日出町立日出中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <計画・組織> ◇校「不登校対策計画」の作成 ・すでに作成しているマニュアルの見直しを行う。 ◇校内不登校対策委員会の活性化 ・週1回の教育相談部会を必要に応じて拡大して実施する。 <未然防止> ◇「絆」(居場所づくり)を意識した学級づくり、特別活動の実践指導 ・生徒会活動によるいじめ撲滅運動を中心とした「絆づくり」 ・生徒が安心でき、存在感や有用感が感じられる「居場所づくり」 ◇生徒指導の3機能を意識した「分かる授業」の展開 ・「大分スタンダード」に基づく、意欲の高まる魅力ある授業を指導する。 ◇校区内小学校との効果的な連携支援の推進 ・小中連携事業(6年生の体験入学)を引き続き実施する。 ◇いじめ被害の被害者の効果的な活用と被害の有効性を他校にも知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> <初期対応> ◇不登校防止の初期対応の徹底 ・「あったかハート1・2・3」を職員に周知し、連続3日以上欠席の児童生徒について、町教委へ報告し組織的な対応を徹底する。 <学校復帰支援> ◇生徒の実態に応じた学校復帰の組織的な支援 ・保健室、相談室登校や放課後登校により復帰へのステップとするともに、相談・学習指導等、複数の教員で対応する。 <p>(教育委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <計画・組織> ◇市町村及び各学校の「不登校対策計画」作成の推進 ・町及び各学校の「不登校対策計画」作成の推進 ◇市町村及び各学校の不登校対策組織の活性化の推進 ・拠点校の効果的な取組を学校訪問や研修の場で普及 ◇地域不登校防止推進教員の活動報告書提出(毎月) <未然防止> ◇「絆」と「居場所」を意識した「魅力ある学校づくり」のサポート ・各学校在籍児童生徒を出不ない取組への巡回支援 ◇研修会での講師、助言者としての活用 ・不登校対策委員会での講師 ・町内各小学校での研修会での指導助言 ◇中学校と校区内小学校の連携推進 ・小中連絡会議での情報提供 ・木曜放課後の小学校訪問日の設定(担当者等との面談) <ul style="list-style-type: none"> <初期対応> ◇市町村初期欠席対応システム構築の推進 ◇「あったかハート1・2・3」の取組推進 ・初期対応として、町内の各校に周知・徹底 <学校復帰支援> ◇教育支援センターや関係機関、SCとの効果的な連携の推進 ・関係機関との連携強化 ・スクールカウンセラーと連携した支援策の検討 ・フレンドリー広場との連携 	

平成28年度市町村教育委員会アクションプラン・計画等概要

(別府教育事務所)

No. 2

市町村名	プラン・計画等	行動計画	
			H28達成指標
日出町	組織力向上計画	<p>ア 学校評価の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校長会、教頭会等で以下の内容を徹底する。 <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカード等を活用することにより、PDCAサイクルを短期で行う試みを全小中学校で取り組む。 ・学校運営協議会では地域代表、保護者代表にもわかりやすい資料を提示し、学校評価の活用の充実を図る。 イ 学校運営体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○教務主任の若返り ○年度当初の教務主任研修会の内容を再検討し、充実を図る。 ○個人目標設定の段階で、各主任をかかわらせる。 ウ 学校・家庭・地域の協働の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○今年度より、町内全小中学校に学校運営協議会が設置された。学力向上の面では、昨年度より保護者や地域の協働に関して、取組指標を定めた。学校の重点項目すべてにおいても、取組指標を定める。家庭・地域が具体的に何をやるのかを明確にし、取組の充実を図る。また、学校運営協議会の活動を充実させることで、協働の推進を図りたい。そのために、教務主任会を活用し、全小中学校の取組の情報交換を行う。 	<p>○重点目標4点セットと授業改善5点セットの取組指標に対する検証を組織的に行う学校の割合を100%にする。</p>
	主幹教諭の活用計画	活用内容	